実施要項

大会名称　:2016年度 バーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会　東京都大会 第8ブロック予選
主催　　:　東京都少年サッカー連盟第8ブロック
期日･会場　: 2016年4月9日（土） 品川区天王洲グランド（人工芝） 1次ラウンド（予選リーグ） 2
016年4月29日（金・祝） 江東区新砂グランド（人工芝） 1次ラウンド（予選リーグ）
2016年5月3日（火・祝）芝給水場グランド（人工芝） 1次ラウンド（予選リーグ）
2016年5月4日（水・祝）墨田区体育館サブアリーナ　2次ラウンド（リーグ～ノックアウト方式）
出場チーム:場チーム数は、52チームとする。

競技方法　1　大会形式

1次ラウンドは、4 チームグループにより総当たりのリーグ戦とする。2次ラウンドは16チームを4グループ に分け、4チームグループにより総当たりのリーグ戦を行い各グループ1位チームが準決勝に進出する。 準決勝の勝者により決勝戦、準決勝の敗者により3位決定戦を行う。

2　試合時間は、以下のとおりとする。

1次ラウンド及び2次ラウンドのリーグ戦は、
20 分（ 10 分ハーフ）タイムアウトなしのランニングタイム（ハーフタイムのインターバル 5 分）同点の場合は、引き分けとする。
準決勝、決勝戦、3位決定戦は、
20 分（ 10 分ハーフ）タイムアウトなしのランニングタイム（ハーフタイムのインターバル 5 分）同点の場合は、ペナルティーキック（PK）方式により勝者を決定する。方法は、フットサル競技規則の通りとする。

3 グループリーグにおける順位決定方法は、勝 3 点、引き分け 1 点、負 0 点の勝点により、勝点の多い順に順位を 決定する。但し、勝点の合計が同一の場合、以下の順にて決定する。

(1)　当該チーム間の対戦成績
(2)　当該チーム間の得失点差
(3)　当該チーム間の総得点数
(4)　グループ内での総得失点差
(5)　グループ内での総得点数
(6)　下記に基づく警告、退場のスコアがより少ないチーム

①	イエローカード　1 枚	1 ポイント
②	イエローカード　2 枚によるレッドカード 1 枚	3 ポイント
③	レッドカード　1 枚	3 ポイント
④	イエローカード　1 枚に続くレッドカード 1 枚	4 ポイント

(7) 抽選

但し、試合が、一方のチームの責に帰すべき事由（キックオフ時刻に競技者が　3　名未満）により開催不能または中止となった場合（不戦敗等）には、その帰責事由あるチームは 0 対 5 で敗戦したものとみなす。 尚、悪天候、地震などの天変地変、公共交通機関の不通その他いずれのチームの責にも帰すべからざる事由 の場合は除く。

4　2次ラウンド進出チームの決定

2次ラウンドに進出できるチームは、グループ1位の13チームと各組2位チームのなかから、勝点、得失点差、総得点、警告、退場のスコアがより少ないチームの順による上位3チーム（ワイルドカードチームとする。）

5 ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票により当大会に予め登録されており、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている交代選手5 名、役員 2名以上 3 名以下の合計 8名を上限とする。ベンチ入り役員の指導者ライセンスは不要とする。

なお、最小 3 名の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。

① 試合開始（前半キックオフ）後、ピッチに到着した場合 その競技者は、前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。
② 後半開始（後半キックオフ）前、ピッチに到着した場合 試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時 よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
③ 後半開始（後半キックオフ）後、ピッチに到着した場合
その競技者は、その試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。

競技規則:　1.　当該年度日本協会制定のフットサル競技規則による。但し、以下内容については、当大会においてのみ適用する。

①ピ　ッ チ : 大きさ　: 長さ 32m × 幅 16m
センターサークルの半径　:　2.5m

ペナルティーエリア四分円の半径 : 5m ペナルテ
ィーマーク : 5m
第 2 ペナルティーマーク : 8m 交代ゾーンの長
さ : 4m

②守備競技者のボール等から離れる距離
フリーキック : 4m コーナ
ーキック : 4m キックイ
ン : 4m

また、日 本 協 会 などが行 う第 3 種 以 下 のフットサル競 技 会 においては、次の規則を適用する。

第 12 条 ファウルと不正行為 ゴールキーパーが手で投げた後、または足で蹴った後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッ チ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリー キックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

第 16 条 ゴールクリアランス ゴールクリアランスされた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフ ウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーラ イン上の任意の地点から行われる。

2. 当大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会で決定する。当大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

出場資格 : 1 2016年度東京都少年サッカー連盟第8ブロックに加盟のチームであること。
: 2 前項のチームに所属し、2016 年度（公財）日本サッカー協会サッカー4種登録をしている選手であること。
: 3 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
: 4 一つの加盟チームから複数のチームを参加させることができる。
: 5 2016年度第8ブロック大会、東京都大会、全国大会を通して選手は他のチームで参加していないこと。

選手登録 : 1 1チームあたりの登録人数は、フットサル大会登録票に登録し得る選手 20 名を上限とする。
: 2 8ブロック大会においては、フットサル大会登録票提出後の追加選手登録は認められない。参

加費 : 1次ラウンド 3，000円
: 2次ラウンド 3，000円

用具 : ユニフォームについては、日本協会ユニフォーム規程に則る。但し、当大会においては、以下の通りとする。

1.ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正のほかに、副として正 と異なる色彩のユニフォームをフットサル大会登録票に記載し、必ず競技場に携行すること。但し、選手全員が携行 及び着用するユニフォームは、正副ともフィールドプレーヤー・ゴールキーパーのそれぞれすべてが同色・同デザイ ンのものとする。

2. アンダーウエア(アンダーシャツ・ショーツ・タイツ)を外に露出して着用する場合は、シャツの袖やショーツの主たる色 と同色とする。尚、同系色は認められず、外に露出することはできない。

3. 選手番号は、フットサル大会登録票に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号を付けること。（番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。また、1はゴールキーパーのために用意される）

4. 体育館で行う場合のシューズは、キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でのトレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみが許される。尚、靴底の接地面は白色・アメ色・無色透明とする。ピッチ面を傷つけたり、着色するおそれのあるシューズは認められない。

5. 人工芝で行う場合、スパイクは禁止とする。

6. 選手の装身具（ネックレス、ピアス、指輪、ミサンガ 等）については、すべて取り外すこととする。 ただし、ヘッドギアやフェイスガード、スポーツゴーグルなど特殊な例については、主催者の認めたものに限り 使用可とする。使用の可能性がある場合は、事前に第8ブロック本部へ確認すること。

7. 試合球は、フットサル用 3 号ボールを使用する。

出場権 : 当大会を勝ち抜いた3チーム（状況により増える可能性あり）は、都決勝大会6月11日（土） 立川市泉市民体育館、11日に勝ちあがった場合は、6月18日（土） 墨田区体育館に出場する義務と権利を有する。

傷害補償 : 怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。各チームで傷害保険に必ず加入すること。

その他 : 本実施要項に定められていない事項については第 8 ブロック役員会にて判断する。